

産業の推進者

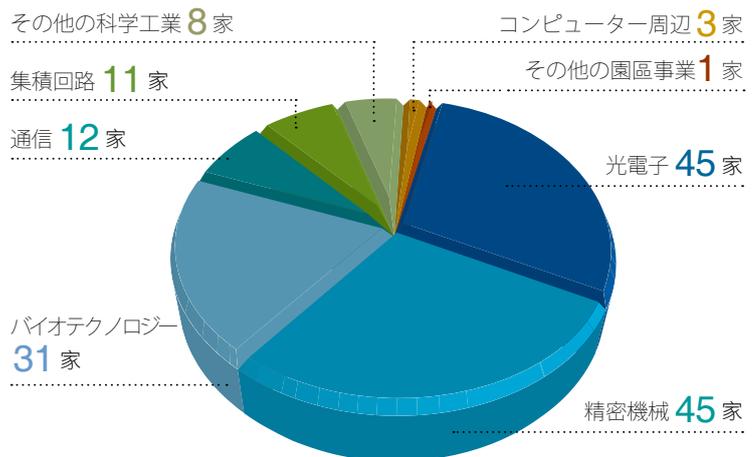
ジャアントホール南科

産業の動態

産業の投資

全世界が景気回復に向かって奮戦している時、南科もやはりこれまでの努力を続けています。2009年末時点での有効認可企業数は累計156社、2009年には18社に新たな園区入居が許可されました。それにはバイオテクノロジー10社、光電子5社、精密機械2社、及び通信産業1社の業者が含まれ、この18社のうち14社は高雄園区に、残りの4社は台南園区にそれぞれ入居して、許可投資金額は計約23億元です。

2009年末産業別有効認可企業数



年度別有効認可企業数

	1998年 以前	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
累計許可企業数	20	29	47	65	91	114	132	138	144	155	158	156



光電子産業

集積回路産業

バイオ医療器材産業

産業集積投資動態

光電子産業

南科は台湾光電子産業の垂直統合が最も完備した集積で、2009年末時点での有効認可企業数は累計で45社、2009年には新たに5社に園区への入居が認可されました。フラット・ディスプレイにおいては、現在量産投入しているパネル工場として、3.5～4世代工場が2ヶ所、5～5.5世代工場が4ヶ所、6世代工場が1ヶ所、7.5世代工場が1ヶ所あるほか、建設中の8.5世代工場が1ヶ所あります。2009年には正達国際、台湾日産、長陽開発科技等のメーカーに入居が認可されました。太陽エネルギー電池の場合では、川上の材料から川中の電池、さらに川下のモジュール、システム製品まで、茂迪、生耀、奇美能源、大億光能、宇通光能、緑陽、億芳、茂能、台達電、銀品等のメーカーがあります。またLED面ではすでに晶元、晶焜、新世紀、光鋳、宏傑等の川上メーカー、川下のパッケージ及びシステム業者が入居しています。

集積回路産業

2009年末時点での有効認可企業数は累計で11社となっています。台積電は第6工場(8インチ・ウェハー工場)及び第14工場の第1、2、3期(12インチ・ウェハー工場)がすでに量産をしているほか、現在先進ウェハー・パッケージ工場を建設中で、2010年9月から量産を始める予定です。聯電南科12A工場第1、2期はすでに量産を始め、12A工場第3期は現在機械取付けです。聯電は合わせて南科に研究開発センタ

ーを成立させました。これにより、南科はすでに国内で最重要の12インチ・ウェハー工場集積の一つになりました。

精密機械産業

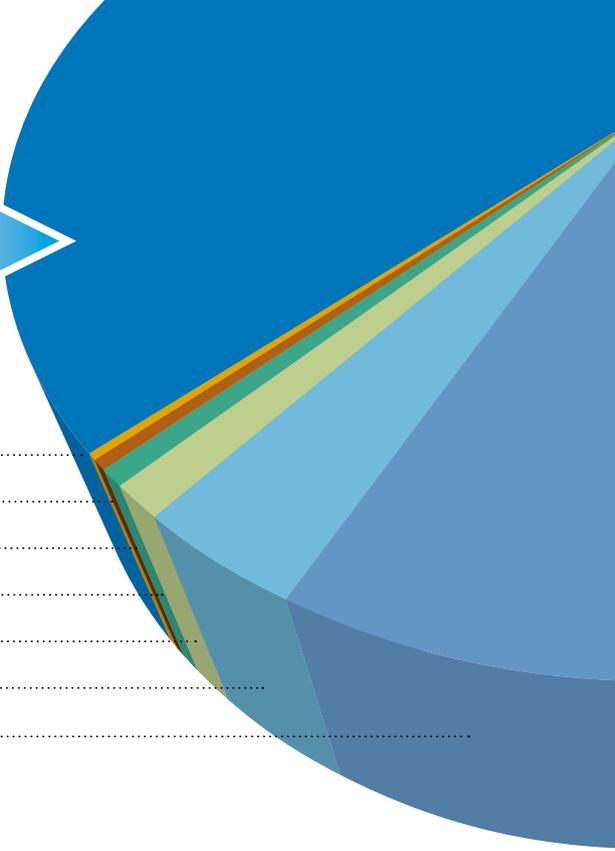
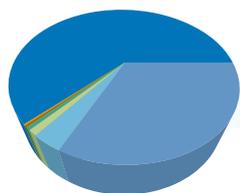
2009年末から現在に至るまで、有効認可業者数は累計45社を数え、2009年には新たに2社に入居が認可されました。それぞれ太陽エネルギー電池転換効率検査設備、原子力顕微鏡等の設備生産に投入して、園区内のウェハー工場や光電子工場にリアルタイムの相互交流サービスを提供します。時間やコスト面で明らかな効果があるほかに、産業を横断する提携協力により相互利益を作り出す契機を創造することになります。

バイオテクノロジー産業

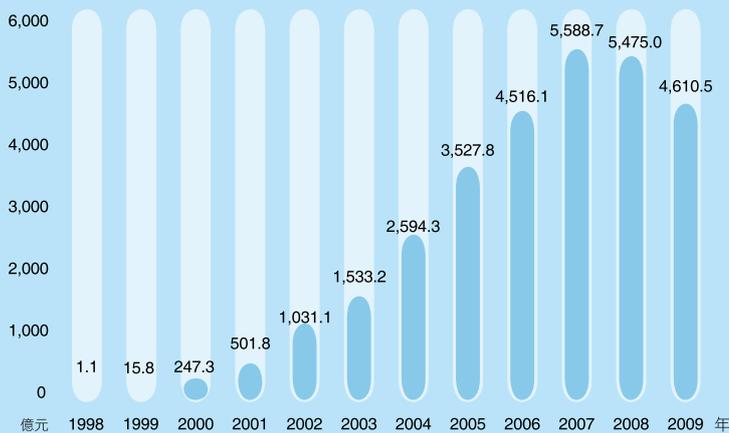
バイオテクノロジー産業は南科の2009年度売上高及び新規許可の2つで成長率が最も高かった産業です。2009年度末から現在に至るまで、有効認可社数は累計で31社、2009年は新たに10社の園区入居が認可されました。「南部バイオテクノロジー医療器材産業集積発展計画」が執行されて以来、2009年には23件の計画申請案が通過して、査定された補助費用は合計3.09億円になりました。また、高雄医学大学、台北医学大学等の学術研究機関も園区に入居して研究開発センターを設置しています。これらに見られるように、計画の執行効果が次第に現れ始めて、南部地区のバイオテクノロジー(医療器材)産業に活気溢れる発展をもたらすものと期待しています。

2009年産業別売上額

- 光電子 61.97% 2,856.99億円
- コンピューター周辺 0.17% 7.97億円
- 通信 0.44% 20.13億円
- その他 0.43% 19.95億円
- バイオテクノロジー 1.03% 47.51億円
- 精密機械 3.39% 156.38億円
- 集積回路 32.57% 1,501.53億円



年度別売上額



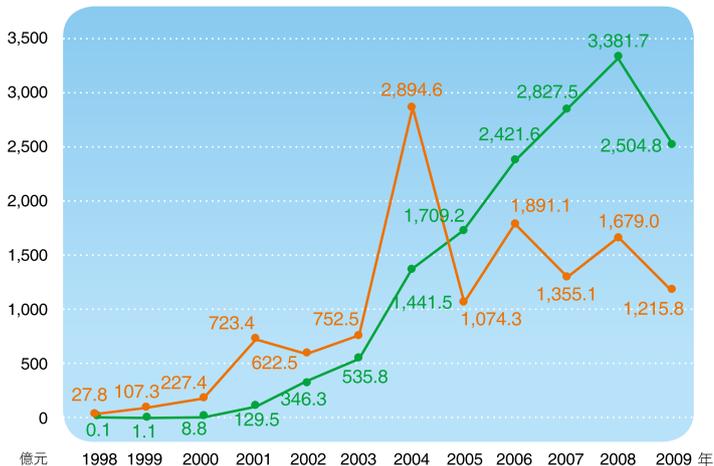
現れた成果

バイオテクノロジーの売上高成長率が最高

2009年に南科全体の売上高は4,610.5億元でした。そのうち光電子産業(61.97%)及び集積回路産業(32.57%)が合計で全体の94.54%を占めています。そしてバイオテクノロジー産業の成長率(27.15%)が全ての産業の中で最高でした。

年度別輸出入額

● 輸入額 ● 輸出額



輸出入総額は光電子産業が最高

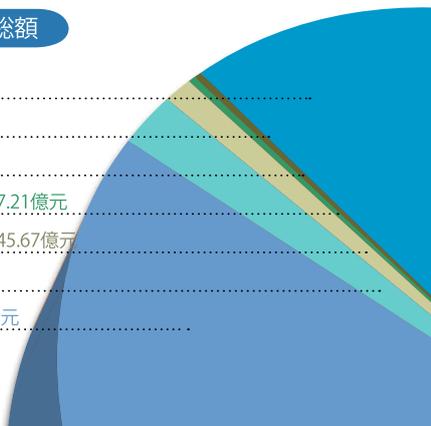
2009年南科の輸出入総額は合計で3,720.6億元でした。そのうち、光電子産業が2,490億元で最高、集積回路産業が1,093億元でそれに続きました。

2009年産業別輸出入総額

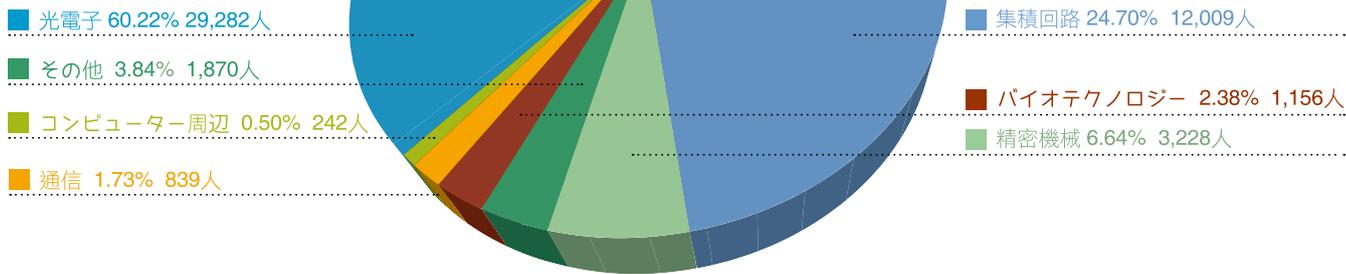
- 光電子 66.92% 2,489.76億円
- 通信 0.03% 0.98億円
- その他 0.15% 5.67億円
- コンピューター周辺 0.19% 7.21億円
- バイオテクノロジー 1.23% 45.67億円
- 精密機械 2.11% 78.35億円
- 集積回路 29.38% 1,092.97億円

注釈：1.2008年以後と2007年以前の輸出入統計の基準が異なるため、成長率比較は適しません。

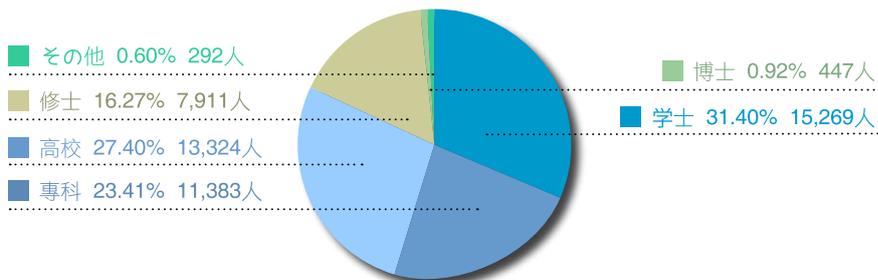
2.国内販売及び保税区域内の移転は含まれていません。



2009年産業別従業員数



2009年の学歴分布

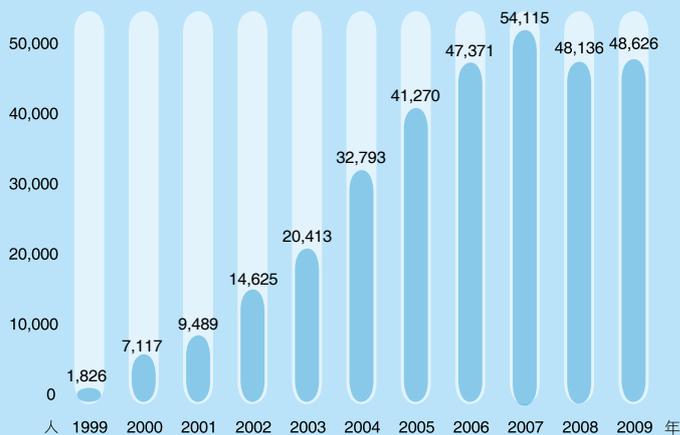


希望の園区

園区従業員数が引続き増加

台湾が経済成長に向かって努力している時、南科従業員数は依然増加していて、2009年は2008年に比較して約500人増え、総人数は48,626人になりました。増加を続けている就業データは、園区業者の共同努力の成果です。

年度別従業員数



土地レンタル情況

2009年末までの累計で、台南園区の土地許可配分率は70.73%、高雄園区の土地許可配分率は73.96%です。レンタル面積から見ると、園区の土地レンタル面積は453.99ヘクタールに達し、新竹及び中部科学工業園区に比較して、レンタル面積が最も多い科学園区になっています。

2009年末時点の土地レンタル情況

